

11/30 楽しくエコを学び自然に親しむ ～あらお環境フェスタ～

▶自転車を充電機体験。職員が充電の仕組みを分かりやすく説明しました。



エコパートナーあらお市民会議は中央公民館であらお環境フェスタを開催しました。

ゴーヤのグリーンカーテンの表彰、巣箱・たこ作り教室、有明高専の学生によるロボットの実演・操作体験や食用油を使った廃油キャンドル作りなどが行われ、多くの来場者でにぎわいました。自転車を漕いで発電して綿菓子を作るブースもあり、子どもたちに大人気でした。

参加者は体験しながら楽しくエコを学び、自然に親しんでいました。

12/1 荒尾の新しい特産へ ～荒尾産オリーブ販売開始～

▶オリーブには善玉コレステロールを増やす働きもあります。



荒尾市オリーブ生産組合は荒尾で採れたフレッシュなオリーブを使った新漬けと搾りたてのオリーブオイルの販売を青研で開始しました。

収穫量が少ないため、数量限定販売ですが、昨年より一段とおいしいオリーブができました。「しょっぱくなくておいしい」「食べやすいので友人の分も買いにきた」と、リピーターのお客様も多く、大好評です。

美容や健康にもお薦めのオリーブ。ぜひ一度、ご賞味ください。

12/1 空き教室でソフトウェア開発 ～事業所新設に関する協定調印式～

▶強い握手を交わす真崎県商工観光労働部長、株式会社ニッセイコム本社社長、前畑市長。(左から)



ソフトウェア大手の株式会社ニッセイコム(本社：東京都)が荒尾市への進出を決定。熊本県の立会いの下、市は同社と熊本県庁で立地協定を締結しました。同社は旧荒尾第二小学校北校舎の空き教室を改修し、4月から事業を開始する予定です。今後、東京や大阪にあるパッケージソフトや受託システムの開発部門を荒尾市に集約し、雇用数50人ほどの事業所となる見込みです。同社の武本社長は「地元での雇用を増やし、地域の活性化に貢献したい」と話していました。

12/3 よかまち荒尾を目指して ～全国優良民生委員児童委員協議会表彰報告～

▶京極理事、前畑市長、植松会長、前川副会長。(左から)



荒尾市民生委員児童委員協議会連合会(会長：植松陸朗さん)が全国優良民生委員児童委員協議会表彰を受け、市役所で前畑市長に報告を行いました。

見守り模擬訓練やあいさつ運動が高く評価された同会。今後は子どもたちに地域安全マップを作成してもらった事業も予定しているそうです。

植松会長は「荒尾はよかまちと言ってもらえようように、これからもみんなで力を合わせて頑張ります」と、意気込みを語りました。

地域の活動 掲示板

みどりまつり



緑ヶ丘地区協議会

グラウンドゴルフ大会



荒尾地区協議会

野外音楽堂花植え



よかまち中央会

荒尾地区文化祭



荒尾地区協議会

認知症サポーター養成講座



桜山げんきかい

史跡探訪ウォーキング



平井校区元気づくり委員会

やはた秋祭り



八幡地区協議会

ペタンク大会



桜山地区協議会

チューリップ植え付け



一小校区元気づくり委員会

緑ヶ丘音楽祭



みどりが丘元かい

玉ねぎ苗収穫



清里地区協議会

ビーチボールバレー大会



八幡地区協議会

12/6 思いやりで溢れるまちへ ～人権フェスティバル～

▶ファイナーレでは、歌と踊りで会場が二つになりました。



人権フェスティバルを文化センターで開催しました。展示部門では市内の学校などから人権に関する作品が多く寄せられました。ステージ部門では小・中学生などが劇や歌で意見を発表。人権講演会では「こけ枝のほのぼの人権漸」という演題で落語家の桂こけ枝さんが講演しました。

来場者は「子どもたちの実体験に基いた意見発表がとても素晴らしかったです。人を思いやることのできる素敵な大人になってほしい」と話していました。

12/6・13・20 有明優都戦略 全国大会出場チームが指導 ～タグラグビー教室～

▶小学生チームと高校生チームに分かれて対戦しました。



小学生を対象に3回にわたり、タグラグビー教室を陸上競技場グラウンドで開催しました。

2年ぶりの全国大会出場を決めた荒尾高校ラグビー部が中心となって、子どもたちを指導。高校生のお兄さんたちから優しくアドバイスをもらいながら、子どもたちはボールを片手に思いっきり走り回っていました。

参加者は「ボールをパスするのが難しかった」「トライを決めることができ、うれしかった」と、口々に笑顔で話していました。